

特集

アクションリサーチの現在

アクションリサーチの意義と魅力—人々のために、人々とともにある研究方法 筒井真優美

アクションリサーチの方法 草柳浩子

看護におけるアクションリサーチの研究動向 山内朋子

アクションリサーチの実際と成果 江本リナ

Unitary Caring Science as Sacred Science : Social/Sacred Action Research

Jean Watson

もう一つのアクションリサーチ—Margaret Newman 健康の理論に基づいた

ミューチュアルアクションリサーチ研究事例 遠藤恵美子, 三次真理

フィールドにおいてアクションリサーチのもたらす意味

—科研と博士論文2つの取り組みを通じて 伊藤久美

コミュニティにおけるアクションリサーチ 袖井孝子

ナラティブとアクションリサーチ やまだようこ

特別記事

科研費審査システムの改革と看護の動向 松田ひとみ

編集協力者

阿曾洋子／井上智子／井部俊子／太田喜久子／岡谷恵子／片田範子／金井 Pak 雅子／上泉和子／
萱間真美／川口孝泰／河口てる子／グレッグ美鈴／黒田裕子／小松浩子／坂下玲子／真田弘美／
筒井真優美／水流聡子／西村ユミ／野嶋佐由美／早川和生／舟島なをみ／正木治恵／村嶋幸代／
森 恵美／安酸史子／山田雅子／山本則子 (五十音順)

編集後記

● 2013 年以来、弊誌ではこれまで何度か「事例研究」を取り上げています。その重要性は浸透しつつあると思われる一方で、本特集で河口てる子先生も述べているように、学会誌における原著性など論文種としての確立といった課題も残っています。事例研究は、「看護のありかた」だけでなく「研究としてのありかた」も問われるということだと思いますので、その両面から、事例研究のもつ価値を周知し確かなものとする

にはどうすべきか、今後も領域を超えて議論が活性化していけばと思います。弊誌では今年もう一度、また異なる切り口から事例研究を取り上げますので、ぜひご覧ください。● 特別記事では、国際共同研究を進める上で「なるほど！」と膝を打つ有益な Tips や現実的な課題が紹介されており、まさに醍醐味が伝わってきます。国際共同研究に取り組んでいる方も取り組もうとされている方も、必読です！ (小長谷)

看護研究 第 51 巻 第 3 号 (通巻 280 号) 2018 年 6 月 15 日発行 (増刊号を含め年 7 回発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原 俊 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 (03) 3817-5659 社内案内 (03) 3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp> 「看護研究」編集室：(03) 3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当／小長谷・南部

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2018, Printed in Japan

1 部定価 1,900 円＋税 2018 年年間購読料 (いずれも＋税、送料弊社負担、増刊号を含む年 7 冊)：冊子版 12,060 円 冊子＋電子版 / 個人 15,060 円 電子版 / 個人 12,060 円 〈学割年間購読料〉冊子版 9,720 円 冊子＋電子版 / 個人 12,720 円 電子版 / 個人 9,720 円

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。